

令和元年度 野々市市文化協会表彰受表彰者名簿

文 化 功 労 賞

やま ぐち まさ あき
山 口 正 昭

住 所 野々市市本町三丁目

表彰事由 民謡協会において、会長を16年、理事長を4年、理事を8年と長きにわたり歴任され、現在も会の常任相談役として活躍されている。会の運営や後継者育成に尽力されるとともに、民謡・民舞の普及に努められた。さらに、文化協会副会長として11年、文化協会常任理事として10年と多年にわたり文化協会役員としても尽力され、協会全体を取りまとめ、盛り上げることに貢献された功績は誠に顕著である。

なか がわ おさむ
中 川 修

住 所 野々市市二日市五丁目

表彰事由 菊花協会の解散が危ぶまれていた時期に会長として入会・再建し、会員の募集や作品のレベル向上に努められた。また、育苗の配布において優良な苗を自ら育て、会員に分譲してこられた。さらに、平成27年より野々市小学校4年生を対象に「ダルマ作り」の栽培を指導し、その作品を展示するレベルにまで向上させるなど、8年間の会長職を務める中で、会の運営・発展に尽力されるとともに、後継者育成や菊栽培の普及に努められた功績は誠に顕著である。

みや ざき あき お
宮 崎 昭 男

住 所 野々市市稻荷二丁目

表彰事由 椿愛好会会長を14年、副会長を4年、また文化協会常任理事を16年、理事を2年と多年にわたり愛好会役員及び文化協会役員を歴任され、本市の文化振興に大きく貢献された。会の運営・発展と野々市市における椿の普及や緑化の推進に努められた功績は誠に顕著である。

文 化 振 興 賞

くろ ぼ えつ こ
黒 保 悦 子

住 所 野々市市本町四丁目

表彰事由 民謡協会において、副会長10年、理事を18年と設立時より多年にわたり要職役員として意欲的に会の運営や後継者育成に尽力されるとともに、民謡の普及に努められた功績は顕著であり、会の模範的存在である。

文 化 奨 励 賞

こ さか つとむ
小 坂 努

住 所 野々市市新庄一丁目

表彰事由 菊花協会顧問として8年務められる中で、平成2年の第二回全国菊花大会において高松宮杯、並びに内閣総理大臣賞を受賞された日本一の卓越した栽培技術を保持されている。また、昨今の夏の温暖化に対する対策など、伝統的な栽培法に加えて新しい手法を普及指導されている功績は大である。

なか の とし お
中 野 利 雄

住 所 野々市市太平寺四丁目

表彰事由 美術文化協会入会以来、多年にわたり各種展示会などに出品し、平成20年の日本南画院で京都市長賞を受賞するほかにも、何度も入賞され、その作品は高い評価を得ており、日本画のリーダーとして会員の模範である。現在も現役であり、これからますますのご活躍が期待できる。

石川フィルハーモニックウィンズ

住 所 野々市市

表彰事由 平成11年より音楽文化協会に加盟し、野々市市を拠点とした活動は今年で21年目を迎える。加盟当初より文化協会事業に参加するほか自主事業として定期演奏会を度々開催し、広く市民に吹奏楽演奏に触れる機会を提供し、普及に努めてこられた。また若手の育成として市内中学・大学との合同演奏や幼少期からの情操教育にも貢献する事業の展開などその先進的な活動の功績は大である。

むら かみ り み
村 上 理 美

住 所 野々市市若松町

表彰事由 華道協会に長年理事として携わり、活動や行事に積極的に協力され、華道の普及に努められた。また、華道古流を研鑽される中で後進の育成指導にも尽力され、会の運営発展及び後継者育成に貢献された功績は大である。

たか やなぎ ただ し
高 柳 忠 司

住 所 野々市市太平寺四丁目

表彰事由 短歌協会会員として長きにわたり短歌作りに励む中で、読売新聞の全国版歌壇俳壇コーナーに投稿し、度々入選してこられた。会の模範的存在として、会全体を活気づけ、会の運営・発展に寄与された功績は大である。